



明秀学園日立高等学校 第17期生通信

学年末 修学旅行特集号

- 1 マレーシア修学旅行を終えて (学年主任より)
- 2 生徒感想文 ～マレーシア修学旅行～

マレーシア修学旅行を終えて

年が明け3学期に入り、修学旅行、卒業式、学年末考査とあっという間に2か月が過ぎ去りました。

マレーシア修学旅行では、2班が行きに搭乗したマレーシア航空機が整備により6時間遅延するというハプニングがありました。どうにか夜中にマレーシアに到着し、両班とも無事に修学旅行の全旅程をこなすことができました。旅行前にもインフルエンザの流行など心配されることが多々ありましたし、旅行期間中も急激な気温変化や食文化の違いから若干体調を崩す生徒も見られましたが、全員が無事に帰国できたことが何よりでした。

メインイベントであった学校交流会も非常に盛大に歓迎していただき、マレーシアの高校生との触れ合いを通じて様々な刺激を受けることができたのではないかと思います。本校生徒のスピーチも大変立派でしたし、書道や茶道のパフォーマンスも大好評でした。また最後には両校の生徒全員で輪になって恒例の阿波踊りを行い、大成功に終えることができました。

また、マレーシアと日本の食文化や風土の違いやさまざまな人種や宗教を身近に感じることができ、あらためて日本という国を違った視野で見つめなおす機会になったに違いありません。多くの生徒たちが、「早く日本に帰って家のご飯を

食べたい」と言っていたのを耳にし、日常生活のありがたみを感じてくれたらいいなと思いました。

今回2学年最後の学年通信では、各クラスの代表者やイベントの中でスピーチなどで活躍してくれた生徒たちの感想文をそのまま掲載しようと思いました。修学旅行を通じて生徒たちが感じた生の声をぜひお読みください。

なお、今回掲載できなかった感想文は来年度の学年通信に掲載させていただきます。

学年主任 筑波 大



4月の予定

【4月】

4日(金)	職員会議
5日(土)	始業式・新任式
7日(月)	入学式
8日(火)	対面式
9日(水)	1年生オリエンテーション合宿 (～11日)
12日(土)	ST/S 授業日 A/B 週休日
15日(火)	午後代休
26日(土)	ST/S 授業日 A/B 週休日
29日(火)	昭和の日

「マレーシア人の積極性と国際人」 2年1組 鈴木 政樹

マレーシアでまず思ったことは、店の人の商売熱がすごいということだった。中華街やセントラルマーケットで商品を見ていると、ほぼ間違いなくいろいろと買わせられるようになる。観光客に対してだからかもしれないが、気前の良さが少なからず影響していると思う。気前の良さや気さくな態度は学校交流で特に強く感じた。日本人学生にはあまり見られないくらいにノリが良く、テンションが高かった。もちろん初対面であったのだがそれに関わらず、日本人の学生たちが圧倒されるほど気さくに接してくれた。このような陽気さはマレーシアに住む人たちに共通しているのかもしれないと考えた。だから店員だって客に対して積極的に売り込みができるのかもしれない。

今回の修学旅行を通して、自分もマレーシアで感じた積極性を見習わなければならないと考えた。学校交流の後に経営コンサルタントの諸江さんの講話を聴いたのだが、そこで話題にあがった「国際人」になるために、積極性はとても重要な要素であると思う。講話中にあった「国際人」の要素に、文化を受け入れられるというのがあった。積極性を持って相手の文化を知ろうとすればより「国際人」になれると思う。日本人は控えめで、自分の主張をあまりしないとよく言われている。それが日本人の評価されるべき点であるが、それと同時に自分の意志や考えを表現しづらくなっている気がする。控える時は控え、主張する時は積極的に主張する、そういった行動が国際人になるために必要だとこの旅行で考えた。

「マレーシアで感じたこと」 2年1組 根本 真生

私は三泊五日の修学旅行で、様々な体験をしたり、現地の学生達と交流をしたりした。マレーシアは暑く、冬の日本から夏に変わったような思いだったが、日本にいる時のようなじっとりとした暑さではなかった。気候と同じく、マレーシアの食生活も日本とは違った。自由行動で皆と昼食を食べた時にはカレーを食べたが、日本よりも辛く香辛料の種類の多さを感じた。そして日本では飲めないようなジュースも飲むことができ、その日はマレーシアの食事に対する憧れが一層強まった。

学校交流会では生徒代表挨拶がすごく思い出に残っている。英語で話すということもあり、当日まで一生懸命に練習した。しかし当日になり皆の前に立つと、やはり緊張してしまった。しっかり暗記して話せなかったのが心残りだったが人前で話す貴重な経験だったと思う。代表挨拶のあとには話しかけてくれた生徒もいて、その後のプログラムも楽しく過ごすことができた。英語で人と話すということは確かに難しいし大変だが、普段の授業では学ぶことができない英語をしっかりと学ぶことができたと思う。是非とも再びマレーシアを訪れて、学校の皆に会いたいと思った。

私は修学旅行で訪れる前まではマレーシアのことも全然わからず様々な不安もあったりしたが、現地で行動するにつれマレーシアの魅力を認識することができた。日本人が老後にマレーシアに移住する理由もわかる気がした。今回の体験を活かして、今後のマーケティングの活動や学校生活に取り組んでいこうと思った。

「マレーシア修学旅行の感想」 2年2組 小野 卓朗

今回の修学旅行は、中学校の修学旅行の時とは違い目的のあるものでした。具体的には「マレーシアで起業しよう」というものでした。でも私は独自に「この修学旅行を楽しむ」というものでした。私は正直行き先がマレーシアだと聞いた時、乗り気ではありませんでした。何かこうイメージができなくて、グアムだと思い込んでいたのでダメージを受けました。そして当日、私の思いは良い意味で裏切られました。特にバスガイドのアンドリューさんやパディになったデヴェニッシュはとても面白かったです。何より虫がいなかった。虫による感染症は杞憂に終わったのはありがたかったです。加えて初日はいろいろなハプニングもあって初日から修学旅行の残りの日数が惜しい限りでした。

日々はどれだけ頑張っても過ぎるもので、この感想文を書いているの今は日本に帰って5日目にもなりました。マレーシアではその歴史や起業の難しさ、国際的な自分の位置づけについて考えさせられました。もちろんもう一つの目的の「楽しむ」ことは大いに達成できました。また私が痛感できたのは自分の英会話力及ばなさでした。しかしそれと同じく感じたのは、見た目や文化の異なる人々と話してみたいという夢でした。まだこの夢は具体的ではないけれど、これからの自分の人生の大きな指標となりそうです。いつかこの夢を叶え、修学旅行で関わった人にもう一度会いに行きます。

「マレーシア修学旅行を終えて」 2年3組 水野 敬暁

今回のマレーシア修学旅行を通していろいろなことを学び、いろいろなことを体験することができました。一日目の出発では飛行機のトラブルで遅れたけど、無事に着いて良かったと思いました。飛行機は初めてだったので、とてもいい体験でした。機内での夕食は日本とは違って味が濃かったです。マレーシアではツインタワーやマレータワーなどが見れました。マレーシアでの買い物はとても印象に残りました。ジュースが80円で買えたりしてとても安かったです。でも日本と違ってジュースの自動販売機がとても少なかったです。

学校交流ではマレーシアの文化をたくさん学び、体験で来てとても楽しかったです。マレーシアの高校生はやさしくて面白くてノリが良かったのでたくさんコミュニケーションがとれました。今回のマレーシア修学旅行で学んだこと、体験したことをこれからの学校生活、部活面で生かしていきたいと思います。

「マレーシア」 2年4組 大高 侑佳

私は今回のマレーシア修学旅行が初めての海外で、行く前はすごく不安で落ち着きませんでした。そんな気持ちのまま成田空港へ行き、飛行機の故障が見つかり帰りたいと思いました。しかし、今は本当に楽しく行って良かったと思います。そう思えた理由は2つです。

1つ目はガイドのトニーが面白くて良い人だったことです。いつも笑顔でよく笑っていたので見るだけで楽しかったです。それとすごく物知りでいろいろなことを聞いてためになりました。

2つ目は現地の高校へ行き、その高校の生徒と交流したことです。英語が上手く話せなかったり聞き取れないことも多かったですが、ごちない会話なりにいろいろな話をできて楽しかったです。それと書道部で団扇に校訓などを書いてプレゼントしたのを、喜んでもらえたのが嬉しかったです。以上の理由で楽しんで過ごしました。

「修学旅行」 2年4組 鈴木 優香

今回、初めての海外でマレーシアに行きました。マレーシアに対してあまり良いイメージは持っていませんでした。だけど、実際にマレーシアに行っているいろいろな体験してみると、とても良い旅行になったと思いました。バンギリス村でのホームビジットの体験はすごく印象に残っています。少し緊張していたけど、向こうの家の人が優しく迎えてくれて安心しました。ご飯やデザートを出してくれてすごく美味しかったです。ご飯を食べたり、英語でいろいろな話をしたり、あっという間に時間が過ぎました。現地の人と一番身近にふれ合う体験ができました。

ブラザー&シスタープログラムもすごく楽しかったです。自分たちの班の学生さんはとても優しく話やすかったです。日本では見られない無料のバスに乗りました。無料ということに驚きました。日本にもあったら便利だと思いました。セントラルマーケットでお買い物もしました。時間がちょっと足りなくて電車に乗るのに走りました。いろいろあったけどとても楽しかったです。

初めて海外に行っているいろいろな体験をすることができました。英語で会話するのは大変だったけど楽しさも感じました。何よりも日本はあらゆる面において恵まれていると改めて感じる事ができました。今回の経験を生かし、当たり前だと思っていることに感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

「修学旅行を振り返って」 2年4組 古賀 葵衣

2月17日から21日までマレーシアに修学旅行に行ってきました。マレーシア航空はトラブルで飛ぶことができず6時間近く空港で待つことになりましたが無事飛ぶことができ安心しました。

3泊5日の修学旅行で一番心に残ったのは3日目の現地の高校の訪問です。この日は自分とその高校の生徒と2人で行動するということがだったので上手く話せるか不安でいっぱいでした。でも学校に着いてバスから降りると生徒が手を振ってくれたり、たくさん話したり、写真を撮ったりしてくれて、外国人という感じがせず、親近感がわいたのを今でも覚えています。校内見学が始まる前からプレゼントをもらったりお礼に日本のお金をあげたり、たくさん話して楽しい時間を過ごせました。校内見学では、実験室や美術室に行っているいろいろな体験をさせてもらったり、たくさん生徒と写真を撮ったり、お手玉遊びをしたりして、日本にはない経験をたくさんできて楽しかったです。何よりも、英語できちんと会話ができたり、タレントやスポーツの話で気が合った時がすごく嬉しかったです。

年中暑くて、空気も文化も接客も、日本と全然違って大変なことも多々ありましたが、文化の違いを肌で感じているいろいろな発見がありすごく良い思い出を作ることができました。また行きたいです。

I had a good time!!

「修学旅行の感想」 2年5組 小林 匠

修学旅行で学んだことは2つあります。1つ目は宗教についてです。マレーシアは国教はイスラム教ですが信仰の自由があり、ヒンドゥー教や仏教、キリスト教など多くの宗教が存在します。その中でも自分はイスラム教に対してあまり知識がなく、マレーシアに行くのが不安でした。しかし実際に見てみると礼拝や食事や服装などはほとんどの人は規律を守っていますが、中には自分のできる範囲でもよいと考える人たちもいるようでした。そして出発する前に肌をあまり見せてはいけないこととか左手は使わないことなどを聞いて実行していましたが、マレーシアでは多くの宗教が共存しているので異なる宗教の人への態度は悪くありませんでした。このマレーシアの宗教間のバランスはとても良く取られていると思いました。

2つ目は日本との環境の違いです。日本では当たり前なのが外国では違うということです。例えばレストランで冷たい水を頼んでもマレーシアでは冷たい水を飲む習慣がないので、温かいお茶しか飲めず苦労しました。水道水も日本のようにきれいではないので飲めませんでした。次に交通についても日本とは大きく違っていました。道路では日本と逆に車優先なのでみんな運転が荒く、信号も短いので危ない思いをたくさんしました。このような日本と異なる文化を体験して改めて日本の良さを実感できました。

「修学旅行」 2年6組 中島 優介

自分はマレーシア修学旅行で海外に初めていきました。初めてのことが多くてとても楽しかった内容の濃い5日間でした。まず飛行機も初めてでドキドキでした。マレーシアでは印象深いことがとてもたくさんありました。夜、部屋からペトロナスツインタワーが夜景とともにとてもきれいに見えました。学校交流もとても思い出深いものとなりました。現地の人とたくさん交流することができ、日本との違いもたくさん発見することができました。村に行った時も日本では見たことのないものも多くあり初めての体験がたくさんありました。自分はマレーシアに行き、国際交流をすることができ、違う文化を学ぶこともできとても満足することができました。

「マレーシア修学旅行の感想」 2年7組 鈴木 絵里香

楽しかった修学旅行を終え、初めての海外旅行は本当に楽しかったなと思い出すたびに感じています。文化も食べ物も、もちろん言葉だって違うマレーシアにワクワクというよりも不安やドキドキの方が強かった私ですが、いざ現地に着き異文化を感じ、人との触れ合いを深めていくと自分でも驚くほど気持ちが高まりました。食事でも口に合うのか心配ではあったものの、とても美味しくてつつい皆で取り合ったりもしました。特に最後の夕食のお鍋はすごく美味しかったのでお腹いっぱいになりながらも、ほぼ完食と言っていいほど食べてしまいました。

そんな中、私が最も心に残り、また逢いたい人がいます。それは現地の高校生であり私のパートナーになってくれたアンナです。英語がわからず慌てる私に優しくしてくれたり、手をつないでいてくれたり、笑顔がとても可愛いアンナにはちょっとの時間ではあったけど友達以上の存在になれた気がします。最後のお別れの時はちょっと泣きそうになりましたが、アンナとの写真や思い出を忘れずにこれからも過ごしていきたいです。

マレーシアは日本とは違うところだけけれど、人はとっても温かくてまた行ってみたいと思いました。その時は楽しい旅行にできたらいいなと思います。マレーシアの皆さんに感謝です。



平成26年度第1学期始業式 26年4月5日(土)

8時20分 職員朝会

昇降口に新クラスを掲示します。

生徒は新クラスに入室。

各自旧クラスの靴箱に靴をとりあえず入れる。

8時30分 SHR(新学年が担当)

出欠確認、日程説明

8時50分～9時10分 始業式

9時10分～20分 生徒指導部長講話

9時35分～10時30分 LHR

担任紹介、クラス運営方針、靴箱の指示、時間割等配布他

10時30分～11時 掃除

11時 終礼・下校